

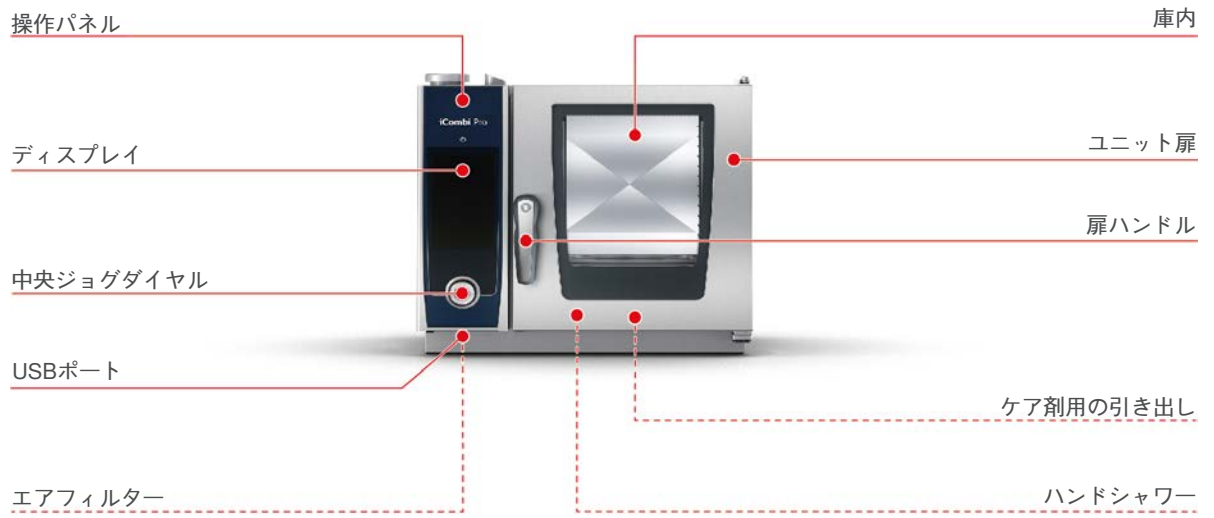
# iCombi® Pro

## オリジナル取扱説明書

# 自動洗浄



## 2 iCombi Pro



## 4 ユニットの使用方法

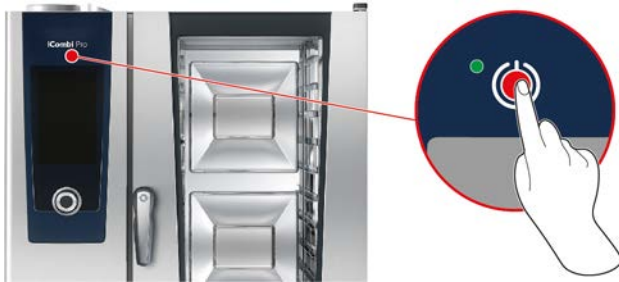
### 4.1 初回の運転

ユニットを最初に運転するときには、ユニットは既にRATIONAL認定サービスパートナーによって正しく設置されているものとします。セルフテストがすでに実行されており、ユニットは操作準備完了であるものとします。設置に関するすべての情報は、同梱の設置マニュアルに記載されています。

#### ユニットで初めて作業する前に

1. ユニットの初回運転する前に、ユニットとアクセサリを洗浄してください。  
詳細はこちら： ケア [▶ 87]

### 4.2 ユニットのオン/オフ



#### ユニットをオンにする

1. ユニットをオンにするには、以下のボタンを押して、LEDが緑になるまで押したままにしてください。⏻  
> ユニットが起動します。スタート画面 [▶ 15]が表示されます。

#### 給水接続なしでの稼働

給水接続を用いずにユニットを稼働する場合は、3リットルの水を庫内に注ぐよう、すぐに求められます。フッターに次のアイコンが表示されます。💧

1. 3リットルの水を庫内の底に注いでください。
2. アクションを確認するには、以下のボタンを押してください。✔

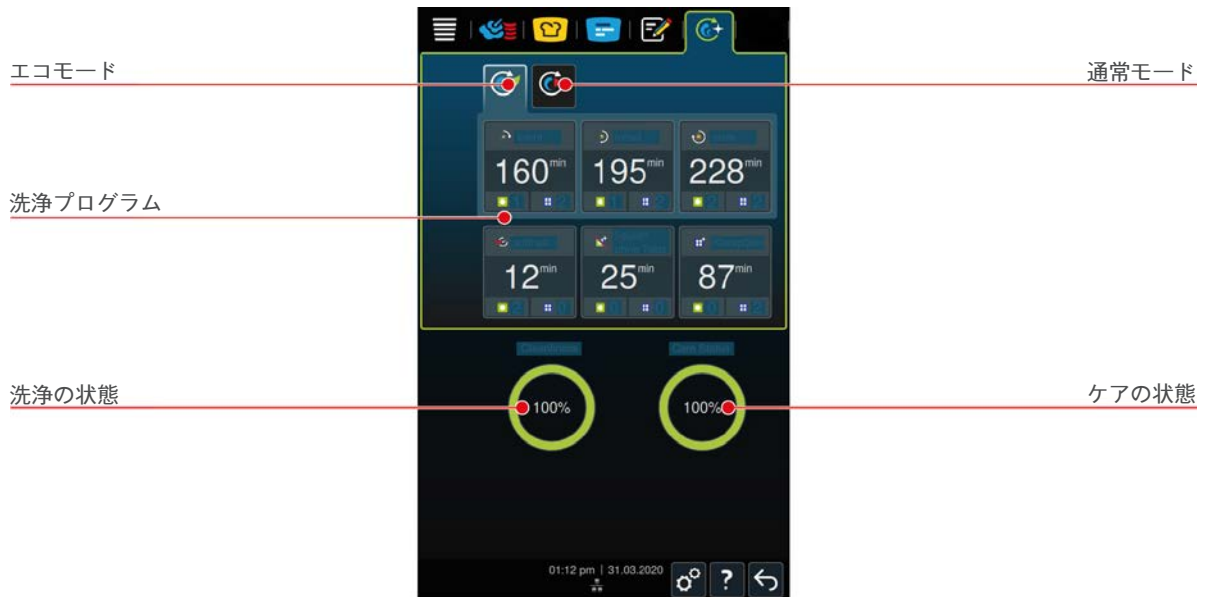
#### ユニットをオフにする

1. ユニットをオフにするには、以下のボタンを押して、LEDがオレンジになるまで押したままにしてください。⏻  
> ユニットを本当にオフにするか尋ねられます。
2. ユニットをオフにするには、バーを右にスワイプします。  
>> ユニットがオフになります。

## 15 自動洗浄 - iCareSystem



iCareSystemは、iCombi Proのインテリジェントな洗浄・水垢除去システムです。ユニットの現在の汚れの状態を認識し、最善の洗浄プログラムとケア用製品の最適量を提案します。



### 15.1 一般的な安全注意

- 自動洗浄の際には、メーカーが推奨するActive Green固形洗剤・ケア剤のみを使用してください。

熱傷や火傷を回避するために。

- 自動洗浄を開始する前に、ユニットとすべての機能部品を冷却してください。

重度の火傷を避けるために

- クリーニングアイテムと洗剤は、肌の重篤な化学火傷、眼の重篤な損傷を引き起こす原因となります。ユニットを洗浄するときは、保護眼鏡と化学物質防護手袋をぴったりと着けてください。
- 自動洗浄中はユニットの扉を閉めたままにしてください。そうしないと、腐食性のクリーニングアイテムと熱い蒸気が流出することがあります。自動洗浄中にユニットの扉を開けると、再び扉を閉めるように指示するメッセージが表示されます。
- 自動洗浄中は、芯温センサーをユニットに掛けしないでください。扉のパッキンが損傷し、腐食性のクリーニングアイテムが漏れてしまう可能性があります。
- 自動洗浄で外付け芯温センサーを洗浄しないでください。
- ユニットを昇温して調理する前に、すべてのクリーニングアイテムおよびその残留物を取り除いてください。

クリーニングアイテムに触れたときの正しい対処方法

- 化学防護手袋を着用せずにクリーニングアイテムに触れた場合や、皮膚の他の領域がActive Green固形洗剤に触れた場合には、流水で10分間皮膚を洗い流してください。
- クリーニングアイテムが目に入った場合は、流水で15分間洗い流してください。コンタクトレンズを着けている場合は取り外してください。

- クリーニングアイテムを飲み込んだ場合は、水で口をすすぎ、すぐに水を0.5リットル飲んでください。嘔吐させないでください。
- すぐに毒物関連の緊急窓口または医師に連絡してください。

## 15.2 洗浄モード

軽度、中度、強度の各洗浄プログラムでは、次の2つの洗浄モードを利用できます。



### エコモード

この洗浄モードを選択すると、各洗浄プログラム [▶ 84] で、ユニット洗浄のためのケア用品の使用量を抑えられます。この洗浄プログラムの所要時間は通常モードよりも長くなります。



### 通常モード

この洗浄モードを選択すると、各洗浄プログラム [▶ 84] で、ユニット洗浄のためのケア用品の使用量が多くなります。この洗浄プログラムの所要時間はエコ・モードよりも短くなります。

## 15.3 洗浄プログラム

以下の洗浄プログラムを利用できます。

プログラム	モード	説明	クリーニングアイテム
軽度	エコ／通常	200°Cまでの温度でユニットを使用して発生した軽い汚れと水垢を除去するのに適しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Active Green固形洗剤</li> <li>▪ ケア剤</li> </ul>
中度	エコ／通常	グリルやローストをおこなう調理パスで発生した汚れと水垢を除去するのに適しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Active Green固形洗剤</li> <li>▪ ケア剤</li> </ul>
強度	エコ／通常	グリルやローストをおこなう調理パスで発生した強い汚れと水垢を除去するのに適しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Active Green固形洗剤</li> <li>▪ ケア剤</li> </ul>
高速	—	強い汚れを短時間のうちに落とすための簡単洗浄に適しています。この洗浄プログラムは強制洗浄をリセットしません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Active Green固形洗剤</li> </ul>
すすぎ(タブ不要)	—	水溶性の汚れを除去するのに適しています。この洗浄プログラムは強制洗浄をリセットしません。	—
すすぎ	—	ベイクやスチームなどの調理パスで発生する、水垢を含む汚れの除去に適しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ケア剤</li> </ul>



### ヒント

ユニットに軟水器が接続されている場合、軟水器スイッチを「軟水」に設定してください。

## 15.4 洗浄とケアの状態

iCareSystemはユニットの洗浄とケアの状態を自動的に認識します。

### 洗浄の状態


- インジケーターが緑の場合、ユニットは汚れていません。
- インジケーターが黄色の場合、ユニットは汚れています。ただし、洗浄のリクエストが出るまで、引き続きユニットで調理することができます。
- インジケーターが赤の場合、ユニットは非常に汚れています。すぐに、あるいは遅くとも次回に洗浄のリクエストが出たときに洗浄プログラムを開始してください。

### ケアの状態

- ケアの状態が緑の場合、スチーム発生器に水垢は付着していません。

- インジケーターが黄色の場合、スチーム発生器に少し水垢が付着しています。
- インジケーターが赤の場合、スチーム発生器に水垢が強く付着しています。すぐに、あるいは遅くとも次回に洗浄のリクエストが出たときに洗浄プログラムを開始してください。

## 15.5 自動洗浄のスタート

- ✓ 庫内ラックが庫内に正しく設置されている。
  - ✓ モービルオープンラックが庫内に正しく設置されている。
1. メニューバーで以下のボタンを押してください。 
    - > 庫内温度が50℃を超えると、以下の通知が表示されます。 **庫内温度が高すぎます**
  2. クールダウン機能 [▶ 39]をスタートして、庫内の温度を下げます。
  3. ご希望の洗浄プログラム [▶ 84]を選択してください
  4. ユニット扉を開けてください。
  5. 庫内からすべての容器とトレイを取り出します。
  6. 左の庫内ラックを庫内に向かって回します。



7. **▲警告！化学火傷の危険！Active Green固形洗剤とケア剤を使って作業するときは、ぴったり合った安全眼鏡と化学物質防護手袋を着用してください。** 表示されている数のActive Green固形洗剤を袋から出して、エアバッファークのくぼみに入れます。
  8. 表示された数のケア剤を袋から出して、ケア剤用の引き出しに入れてください。
  9. ユニットの扉を閉めてください。
- >> 自動洗浄がスタートします。
- >> 自動洗浄が終了するとシグナル音が鳴ります。





### ヒント

- 推奨量のActive Green固形洗剤を使用しているにも関わらず、自動洗浄中に庫内で泡が発生した場合、次回の自動洗浄では洗剤の量を減らすことが望まれます。引き続き泡が発生する場合は、RATIONAL認定サービスパートナーまでご連絡ください。

## 15.6 自動洗浄の中断

すべての自動洗浄プログラムはいつでも中断できます。

1. ボタンを押してください。 
    - > 本当に洗浄を中断したいか尋ねられます。中断の時間が表示されます。
  2. ボタンを押してください。 
    - > Active Green固形洗剤を取り除いてください。
  3. ユニット扉を開けてください。
  4. **▲警告！化学火傷の危険！Active Green固形洗剤を使って準備や作業を行うときは、ぴったり合った安全眼鏡と化学物質防護手袋を着用してください。** Active Green固形洗剤を庫内から取り出して捨ててください。
  5. 庫内を水で注いでActive Green固形洗剤の残りを洗い流してください。
  6. ユニットの扉を閉めてください。
- > 中断が続きます。

- > 中断が完了すると、庫内にActive Green固形洗剤の残留物がないか確認するよう求められます。
- 7. ユニット扉を開けてください。
- 8. ユニットの扉を閉めてください。
- >> これでユニットの使用を再開できます。スタート画面が表示されます。



#### ヒント

自動洗浄中に電源が落ちると、自動洗浄は中断されます。電源が回復すると、自動洗浄が続行されます。

## 15.7 強制洗浄

強制洗浄を有効にすると、設定した時間後にユニットを洗浄するように求められます。洗浄が完了するまで、ユニットを再び使用することはできません。

1. ボタンを押してください。
2. ボタンを押してください。 洗浄
3. ボタンを押してください。 強制洗浄
4. 強制洗浄を有効にするには、以下のボタンを押してください。 オン
5. ユニットの洗浄がリクエストされるまでの時間を設定するには、以下のボタンを押してください。 洗浄リクエストまでの時間ここでは、実際の時間ではなく、稼働時間を設定するようご注意ください。
6. 目盛り上で1~24時間の値を選択してください。
7. リクエスト後に洗浄を先延ばしできる時間を設定するには、以下のボタンを押してください。 強制洗浄の遅延時間
8. 目盛り上で1~24時間の値を選択してください。

>> 洗浄の実行が必要となるまでの稼働時間がフッターに表示されます。

## 15.8 洗浄プラン

洗浄プランを用いて、何曜日に強制洗浄 [▶ 86]を実行しなくてはならないかを設定できます。

1. ボタンを押してください。
2. ボタンを押してください。 洗浄
3. ボタンを押してください。 洗浄プラン
4. 洗浄時期のお知らせの際にユニットがどのように動作するかを規定するには、以下のボタンを押してください。 洗浄プラン 日時
5. 洗浄時期のお知らせを希望しない場合は、以下のボタンを押してください。 オフ
6. 洗浄時期に警告を表示させたい場合は、以下のボタンを押してください。 警告
7. 洗浄時期のお知らせが表示されたらすぐにユニットを洗浄しなくてはならないようにするには、以下のボタンを押してください。 強制洗浄
8. 洗浄プランの概要に戻るには、アイコンバーで…を押してください。
9. 洗浄を実行する曜日を選択してください。
10. 以下のボタンを押してください。 オン
11. 洗浄を実行する時刻を設定してください。
12. 洗浄プランの概要に戻るには、アイコンバーで…を押してください。

## 16 ケア

### 警告

#### 庫内に付着した脂肪や食品の残留物

庫内を十分に洗浄しないと、残った油脂や食品がたまって火災の危険が生じます。

1. ユニットは毎日洗浄してください。
2. 火が出たら、扉を閉じてください。これで、火が酸素を失います。ユニットの電源を切ってください。火が広がった場合は、油脂による火を消すために適した消火器を使用してください。油脂による火を消す際は、水または泡消火器は決して使用しないでください。

### 16.1 一般的な安全注意

熱傷や火傷を回避するために。

- 洗浄作業を開始する前に、ユニットとすべての機能部品を冷却してください。

物的損傷、怪我、致命的な事故を回避するために。

- 自動洗浄を除くすべての洗浄作業の間は、ユニットを電源から外してください。
- 化学洗剤の残りをすすぎ洗いする際は、絶対にハンドシャワーや液体を使用しないでください。
- マニュアルスチームモードのみを使用している場合でも、ユニットは毎日洗浄してください。
- ユニットの自動洗浄でアクセサリーを洗浄しないでください。

### 16.2 クリーニングの間隔

クリーニングの間隔	機能部品
毎日	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 庫内</li> <li>▪ 調理スペースパッキン</li> <li>▪ ユニット扉</li> <li>▪ ドリップパンと排出溝</li> <li>▪ 芯温センサー</li> <li>▪ アクセサリー</li> <li>▪ ハンドシャワー</li> </ul>
毎週	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ユニットの外側</li> <li>▪ LEDカバー</li> <li>▪ コントロールパネル</li> <li>▪ プラスチック部品</li> </ul>
毎月	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 加湿ノズル</li> </ul>

機能部品はケアの間隔に従って洗浄する必要がありますが、必要に応じて、もっと頻繁に洗浄することもできます。

### 16.3 クリーニングアイテム

#### 適切なクリーニングアイテム

- 次の機能部品は、ぬるま湯、中性の手洗い用洗剤、および柔らかい布を用いて洗浄してください。
  - ユニットの外側
  - 扉のガラス板
  - 扉のLEDカバー
  - 調理スペースパッキン



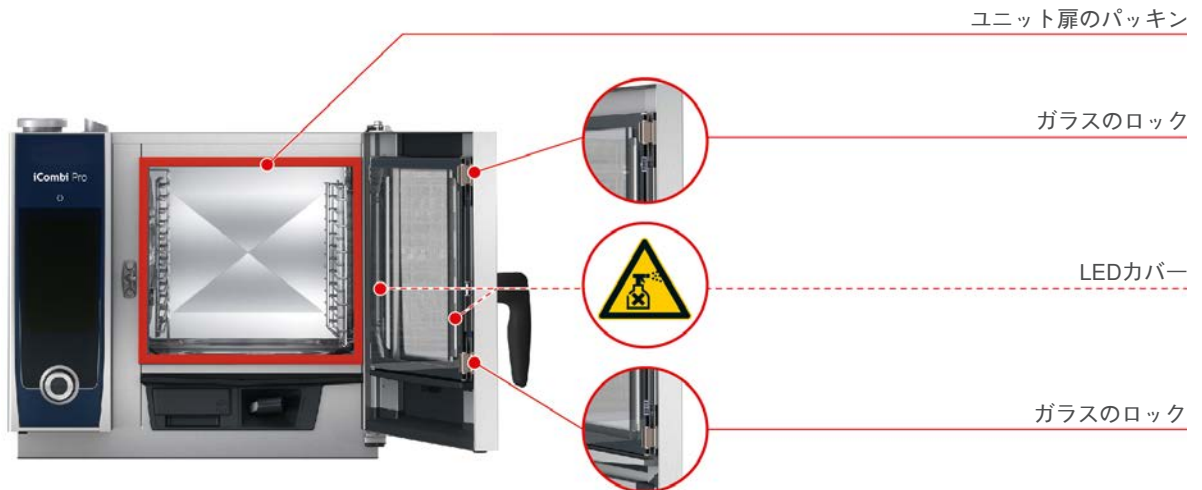
- アクセサリーは、ぬるま湯、中性手洗い用洗剤、および柔らかい布を用いて洗浄してください。

### 不適切なクリーニングアイテム

以下のクリーニングアイテムはユニット、機能部品、アクセサリーの洗浄には不適切ですので、使用しないでください。

- 研磨剤
- 塩酸、アルカリ液、含硫物質またはその他の酸素消費物質
- 希釈していないアルコール、メタノール、またはアセトン、ベンゼン、トルエン、キシロールなどの溶剤
- オープンクリーナーまたはグリルクリーナー
- 研磨フリース付きの洗浄スポンジ
- スチールウール
- 高圧洗浄機
- 鋭いまたは尖った道具

## 16.4 ユニット扉の洗浄



### ガラス板の洗浄

1. カチッという音がするまで、ユニットの扉を完全に開けてください。
2. 少し押しつけてガラスのロックを解除してください。
3. ユニット扉のガラス板を順に回転させます。
4. ユニット扉のガラス板は、ぬるま湯、中性手洗い用洗剤、および柔らかい布を用いて洗浄してください。
5. ガラス板を完全に乾かしてください。



### LEDカバーの洗浄

ユニットの扉のガラスを洗浄するときには、LEDカバーも洗浄できます。LEDカバーの洗浄には適切なクリーニングアイテム [▶ 87]のみ用いてください。

LEDカバーは、中と前のガラス板の間にあります。

- ✓ 扉のガラス板のロックが解除されている。
1. LEDカバーは、ぬるま湯、中性手洗い用洗剤、および柔らかい布を用いて洗浄してください。
  2. LEDカバーを完全に乾かしてください。
  3. 扉のガラス板を再び固定します。

### ユニット扉のパッキンの洗浄

260°Cを超える高温の庫内温度で連続操作し、脂肪とゼラチンを特に多く含む食品を調理すると、ユニット扉のパッキンが早く磨耗することがあります。毎日洗浄をおこなうと、ユニット扉のパッキンの寿命を延ばすことが可能です。

- ✓ ユニット扉が開いている。